

京都教区時報

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

3頁 アジア体験学習

8頁 京都教区・外国語ミサ

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
京都教区時報編集室
TEL 075-211-3468
FAX 075-211-4345

点訳版「京都教区時報」(無料)
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。

TEL・FAX 0794-31-8601



黒瀬の辻にある、ガスバル西の墓（長崎県生月）

生月（長崎平戸）の殉教者

ガスパル西玄可と家族
信仰を受け入れることは、家族に分裂をもたらすことがあるが（マタイ10・34）、家族揃って信仰のため命を捧げることもある（マカII7章）。信仰のない人には理解出来ないだろうが、殉教が永遠の命の保証であることを知るものにとって（マタイ10・38）それは愛と信仰の最もすぐれた証なのだ（ヨハネ15・13）。

ガスパル西玄可と妻ウルスラ・トイとその4人の子ども、嫁と孫と共に殉教の栄冠を得た。彼は死刑執行を命じられた親友右馬允に、「自ら選び望んだキリストの道だから、むしろ感謝したい」と彼を労つたという。先に列聖されたトマス西は彼らの次男である。

信仰の故に奉行職を解任されたが、信徒たちの世話を果たし、子どもたちも親に似た道を選んだ。

信仰は家族を分裂させるかも知れない。しかし信仰は、神において一つに堅く結ばれる時、すばらしく、またうらやましい程の家族愛と一致を生み出す。そこにキリスト教的家族が輝いている。

11
2007

188殉教者紹介 9 生月の殉教者

1987年に聖トマス西が列聖されたとき、トマスの父ガスバル西を思い出した人は少なかったかも知れない。しかしガスバルは、その息子以上に、すばらしい模範を全教会に残したと言つても過言ではない。

ガスバル西は、1556年、平戸の生月島に生まれた。父はドン・アントニオ籠手田左衛門の家臣であり、島の総奉行を務めた。ガスバルは、1558年、2歳のとき父とともにガスバル・ヴィレラ神父から受洗。それ以降の生涯はキリストの教えに導かれたものになつた。ガスバルは成人し、若き未亡人ウルスラ・トイと結婚した。ガスバル西はウルスラ・トイとの間に4人の子をもうけた。長男は西家を継いだヨハネ又一、次男はトマス六左衛門、三男はミゲル加左衛門、そして一人娘マリアがいた。

ジエロニモ籠手田とそのいとこバルタサール籠手田が、信仰を守

るために6百人の家臣とともに領

地を捨て、1599年に長崎に退去した。この時、ガスバル西は管理職を解かれたが島を離れず、引退して妻ウルスラとともに生月の伝道士となつた。ガスバル・トイは有馬のセミナリヨに入り、その後イエズス会に入会した。トマスも有馬のセミナリヨで育てられ、末子のミゲルは父の家に留まつた。その時、娘マリアは館の浜の奉行となつた近藤喜三の息子と一緒に嫁していった。そのころキリスト教に対する松浦鎮信の態度が次第に厳しくなつていて、近藤もマリアに信仰を棄てさせようと責めた。マリアは信仰を守るために愛する夫と離れて実家に戻つた。近藤喜三は、空盛上人と名乗る平戸の僧侶、高野と手を組んでガスバル西を領主に訴え出た。ガスバルが主君の命に背いてキリストの信仰を棄てないばかりか、信者たちの信仰を支え、洗礼を授けることさえしていたというかどで処刑されることになつた。

ガスバルは、はりつけを願つた。その十字架は、コスメデ・トーレス神父が1563年に立てたものである。願いは聞き届けられ、ガスバル西は、1609年11月14日、友人であった右馬允の手で斬首された。同じ頃、少し離れた所でウルスラとヨハネ又一も殉教を遂げた。

1634年、トマス西神父は長崎で殉教し、その同じ年には広島末子のミゲルは父の家に留まつた。その時、娘マリアは館の浜の奉行となつた近藤喜三の息子と一緒に嫁していった。そのころキリスト教に対する松浦鎮信の態度が次第に厳しくなつていて、近藤もマリアに信仰を棄てさせようとしていた。マリアは信仰を守るために愛する夫と離れて実家に戻つた。近藤喜三は、空盛上人と名乗る平戸の僧侶、高野と手を組んでガスバル西を領主に訴え出た。ガスバルが主君の命に背いてキリストの信仰を棄てないばかりか、信者たちの信仰を支え、洗礼を授けることさえしていたというかどで処刑されることになつた。

キリストン関係行事

○11月 (日)

黒瀬の辻殉教祭
(平戸市)
主催 平戸地区

○11日 (日)

七人塚(跡地)巡礼
場所 七人塚(美作市)
主催 津山教会(岡山)

○11日 (日)

萩市内巡礼ウォークへ萩の殉教者・メルキオール熊谷豊前守元直
場所 萩キリストン殉教者記念公園

○11日 (日)

不動山キリストン殉教祈念祭
場所 不動山(嬉野市)
主催 佐賀地区信徒協

○11日 (日)

細川ガラシヤ祭
場所 勝竜寺(長岡京市)
主催 長岡京市

○18日 (日)

レオ七右衛門祭
場所 川内教会

主催 鹿児島教区

(9ページに続く)

フィリピン アジア体験学習

「ゆるし」 「日本人としての反省」

京都教区助祭 鶴山進栄

8月20日～27日まで、アジア体験学習に参加しました。体験学習を通して学んだこと、感じたことを思いつくままに列記したいと思います。

今回の体験学習の前に7月にミーティングがあり、そのときに改めて第2次大戦中、日本はフィリピンでも殺戮を行い、また現地の人々を心身ともに傷つけてきたということを学んで訪問することになりました。7泊8日のAグループはマニラから車で3～4時間離れたところにあるインファンタの町に行きました。そこではホームステイが用意されていました。さてホームステイをさせていたい方の親戚の方が夕方招いてくださり軽食などを頂いたのですが、その席にいた初老の男性が「この町では昔、日本軍が来て住民を殺したんだ」と言わされました。当時実際に体験し、戦後の混乱を体験した人なら当然のこと、と私は

自身思います。ホームステイから帰って現地のスタッフの方に話を通して学んだこと、感じたことを思いつくままに列記したいと思

ます。

「私はインファンタの町で日本による虐殺があったということを7月に知りました。私は長崎市生まれで、そこは原爆を落とされた街です。私は原爆投下をやることでできません、私はとても怒っています。でも同じようにインファンタの人は怒っているでしょうね」。ところが「いや、そんなことはない」とのこと。理由を尋ねると「当時の日本軍の兵士が上官に逆らうことができなかつたということをフィリピンの人々は知っている。また2004年の洪水の時、たくさんの日本人がインファンタの街に入り復興を手助けしてくれた。インファンタの人々で怒っている人もいるだろうが、そうでない人の方が多い」ということでした。

アジア体験学習をフィリピン側

で準備・受け入れをしてくださっ

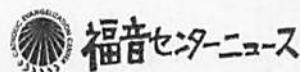
照。

てているICDAIの責任者、フランス神父がホームステイ前に以下のような話をしてくれました。「アジア体験学習は20年以上になりますが、正直当初はどうなるかと心配した、なぜならインファンタの街は日本軍が虐殺を行った街だ。その街に日本人が行って人々は受け入れてくれるだろうか。そしてインファンタの人々に意見を聞いてみた。すると人々は『日本人がインファンタの街に来たいというのなら来たらいいじゃないか。確かに過去にはそのような事件もあったのは事実だ。しかし私たちはクリスチャンだからやるそうと思う』と言つてくれたのだ』。

私たちインファンタの人々の信仰心、そしてゆるす心によってこの街にお邪魔することができた。また善意ある日本人がインファンタそしてフィリピンに行き活動することによって信頼を回復していることにも敬意を示したいと思います。そして日本が国として謝罪・補償をしていないという状況を考えると、日本人がフィリピンの人々と交流し信頼を回復していくという方法だけが平和への糸口なのかなと思いました。



京都カトリック福音センター



第30回

結婚講座

～新しい出発のために～

教会での結婚の意味を学びながら、和やかな雰囲気の中で、対話をとおしてお二人の関わりを深め、より豊かな結婚生活を目指して心の準備をしていきます。

	日 時	テマ
①	1月26日(土) 10:30~15:00	対話 -愛を育てる新婚時代-
		対話 -家庭経済-
②	2月2日(土) 10:30~15:00	愛の契約と夫婦の絆 -キリスト教の結婚観-
		妊娠と出産 ～産婦人科医の立場から伝えたいこと～
③	2月9日(土) 10:30~15:00	結婚生活の体験の分かち合い
		対話 -二人で歩む道の価値観-

- 対象 教会で結婚式をなさる方
- 場所 京都市中京区河原町通三条上ル カトリック会館内 8F
- 費用 一人 10,000円（昼食代込み）
- 申込期限 1月18日(金) *事前に所属教会司祭、又は挙式司祭の承諾を得てお申し込みください。

*カップル対象で内容が組まれていますので、お二人揃って全回出席されることを原則とします。

◆ [結婚講座][祈りⅡ]申込み・問い合わせ先◆

郵便番号・住所・氏名・参加コース名をご記入の上、それぞれの参加費を
[郵便振替番号 00920-4-161844 カトリック福音センター養成コース]へお振込みください。

京都カトリック福音センター 〒604-8006 京都市中京区河原町通三条上ル
TEL 075-229-6800 FAX 075-256-0090 fukuin@kyoto.catholic.jp

祈り (II)

-私が主であることを知る心を、私は、彼らに与えよう-

(エレミヤ 24.7 参照)

キリストと心をひとつにして、わたしらしく生きるために
自分を知り、沈黙の中で祈り、人と分かち合う・・・

- 日 時 2007年11月29日(木)午後2時~30日(金)午後4時 予定
- 指 導 トニー・プロドニアク師(メリノール宣教会)
sr. 中山真里、sr. 菊池陽子(福音センター)
- 会 場 唐崎ノートルダム修道院(京都駅から15分湖西線 唐崎駅下車徒歩15分)
- 申込み締め切り 11月22日(木)までに ● 参加費 11,000円

※「祈りⅡ」の問い合わせ・申し込みは右ページ下の案内に沿って
お申し込みをお願いいたします。

福音センターからのお願いとご案内

福音センターでは、年間を通してさまざまな講座を開設し、信徒の皆さまが信仰をさらに深める機会を提供しております。

このたび、当センターの講座をもっとよく知っていただくため、講座の日程や内容などを直接にメールでお送りさせていただくことに致しました。

この主旨にご賛同いただける方は、以下の福音センターのメール宛てに「配信希望」とお送りください。こちらからのインフォメーションを随時お送りいたします。

皆さまからいただきましたメール・アドレスは厳重に管理し、福音センターからの情報提供以外には使用いたしませんので、どうぞご安心ください。

福音センターのメールアドレス : fukuin@Kyoto.catholic.jp
それでは、皆さまのご参加をお待ちしております。

2007年11月

京都カトリック福音センター

担当司祭 パトリック・オヘール

外崎 豊

講座中止のお知らせ

本年12月15~16日に予定しておりました「病人訪問」講座は、講師の沼野尚美氏のご都合により中止させていただきます。ご迷惑をおかけいたしますが、ご了承くださいますようお願いいたします。

聖書講座シリーズ「使徒言行録」7 / 25 • 26

エルサレム公会議（教会の大転換）

中川博道師（カルメル修道会）



使徒言行録
は15章を境に
して、イエス
によって生ま
れた教会が發

ることを強要した。このことがユ
ダヤ人と異邦人の間で論争になっ
たので、使徒たちや長老たちの意
見を聞くために代表者がパウロと
バルナバと一緒にエルサレムに
上って行つた。

展し、新たな次元でのあり方へと
進んでいく。ここまでペトロが
中心でユダヤ色が濃かつたが、こ
れから後はパウロが中心になって
教会の発展は描かれていく。パウ
ロはキリストと一緒に生活してい
ないので、他の使徒たちと違う視
点で本質を見ることができた。キ
リストが本来持っていた普遍的な
ものをベースにして教会は新たに
展開していく。

パウロがアンティオキアに来た
とき、割礼も律法も知らない異邦
人がキリストと出会い、信仰の恵
みを受けていた。しかしユダヤか
ら来たユダヤ人キリスト教徒は、
ユダヤ教をやめるのではなく、洗
礼によって救われてユダヤ教が完
成されると思っていたので、異邦
人に對して割礼を受け、律法を守

る努力によつてではなく、根底か
らわたしを支えていて下さるお方
を信じ、受け入れることでしか変
わることができないと知つたので
ある。

エルサレムでは会議が開かれ、
使徒たちと長老たちが議論を重ね
てから、ペトロが立ち上がり、
教皇としての立場で最終的な結論
として「割礼や律法を知らない
も、主イエスの恵みによつて救わ
れる」と信じている異邦人を受け入
れる」と言った。これはペトロ
自身がイエスと出会つて共に生活
した体験と、10章のコルネリウス
に会う前に受けた幻によるもので
ある。ペトロは何度もイエスを裏
切つたが、イエスはそれでも自分
を捨てていなことを知つた。ペ
トロにとって律法も割礼も救いの
役に立たなかつたことに気付いた
のである。

この会議でのパウロの考え方につ
いては、ガラテアの手紙の2章に
みというのではなくて、愛され

詳しく述べられている。パウロは
律法学者としての英才教育を受け
た人で、誰にも負けずに律法を守
ろうとしていたが、キリスト教徒
を迫害をするためにダマスコに行
く途上でイエスに出会つた。自分

の努力によつてではなく、根底か
らわたしを支えていて下さるお方
を信じ、受け入れることでしか変
わることができないと知つたので
ある。

当時のユダヤと同じく、今日の日
本の社会では多くの人が傷ついて
救いを必要としている。教会の中
に何か新しい動きを探さなくては
ならない。経済的に発展すると教
会は力を失っていくと言われる。
ボーランドではまれにみる発展を
遂げているが、教会もめざましい
発展を遂げつつあると伝えられ
る。経済が発展することは人間に
とってプラスのことだから、それ
が神との出会いにマイナスとなる
と考えなくていいのではないか。

パウロは「愛の実践を伴う信仰
こそ大切です」と言つてゐる。こ
の言葉は「イエスを信じさえして
いれば救われる」とプロテスタン
トで解釈されることもあるが、カ
トリック教会は信仰のみ、恵みの
ことだけではなくて、愛され

いることを受け入れた人の新しい
生き方に注目している。

会議では、2人を選び手紙を託
して各地の教会に派遣することに
した。守るのは「偶像に捧げられ
たものと、血と絞め殺した動物の
肉と、みだらな行いとを避けるこ
と」これだけでいいと初代教会は
決めた。救いの本質は何かを見抜
き、新しいステップを踏み出した。
旧来の枠に留まつていたならその
後の発展はなかつたであらう。

私たちはここから幾つかのこと
を学ぶことができる。大転換期を
生きるカトリック教会の原理は、
一人の思い込みで動かないこと。
絶えず体験を分かち合い、確かめ
合いながら私たちの信仰体験の根
底に何が隠れているかを見出して
いき、それを協議し、教会の権威
の下にまとめ、全体として新たな
歩みを生きてゆくことである。

36節からパウロが新たな展開を
していくが、教会の中で唯一の支
えのバルナバと袂を分かつことに
なる。新たな召し出しに従つて生
きていくとき、痛みをともないな
がらも歩み続けなければならぬ
道筋というものが私たちの人生に
あるのかも知れないと思う。

ラバディ神父



所属聖ヴィア
トル修道会
生年 1939
叙階 1966

私は1968年9月に来日、1970年4月から今まで洛星で青年の教育のために自分の生涯を捧げて、宗教と英語を教えました。特に宗教を教えたときに宣教師の夢を果たしたことを強く感じました。神様の教えを伝えるため



オヘール神父

所属マリスト
会
生年 1939
叙階 1964

ここにちは神父さん

午後は専門的な分野で20人ぐらいです。20年前から頑張っている人もいます。洛星で校長を16年務め、2004年から理事長になった現在も皆さんと一緒に神様の御言葉を学び、御言葉を伝えられるときが一番幸せだと思います。

重地区南勢ブロック担当司祭として楽しく共同宣教司牧に努めています。滞日外国人信徒が多い三重地区では、多文化共生共同体づくりに何か貢献できたらうれしいと思っています。福音センターの手伝いもさせてもらっています。38年前から京都教区では、任命された教会、委員会、司牧活動グループ、いろんな場で関わった方々に出会ってきましたが、その出会いをとおして神さまがいつも私を暖かく見守ってくださったことを新たに感謝しております。

2005年12月まで10年間、難民移住移動委員会（国際協力委員会）を担当していましたが、私は自身は「移動者」の生活をしています。住まいは、奈良の朱雀マリスト会修道院ですが、週に3、4回松阪教会に泊まる！ 現在、三

教会学校研修会

高野教会 湯浅美恵子

8月25日（土）京都教区の教会学校リーダーおよび教会学校活動

に関心のある方を対象に呼びかけられ、河原町カトリック会館6階ホールに於いて『子どもに伝える信仰』をテーマに教会学校研修会が行われました。

奥村豊神父（京都教区）の講話では、子どもに伝えようと思う項目、書き出し、整理し、伝え合

り返り、「信仰宣言」についてのお話しから「子どもに伝えること」について考えました。

引き続いてのシスター田中静子（ノートルダム教育修道女会）による模擬教会学校クラスからは、

伝えるメッセージを貝殻やパズルを使って行われた例を体験させ

て頂き、実際に体験された子ども

の反応についてのお話しを伺いました。その後手話を交えて「神様

といつもいっしょ」を全員で歌いました。

午後の質疑応答の場では、司祭の方々の他、現在教会学校を



担当されているシスターや信徒の方々、青年リーダーにも回答を頂き、参加者とともに日々の活動の中で感じていることについても分かち合い、深めることが出来ました。教区内の19小教区から34名の参加があり、奥村神父のまとめのお話しと教会の子どもたちをとても大切に考えておられる大塚司教からの励ましのお言葉と祝福を頂いて散会となりました。

京都教区・外国語ミサ

2007.11.1

ENGLISH			英語		
TANGO-OOMIYA	2nd Sunday	14:00	丹後大宮	第2日曜日	14:00
MIYAZU	Every Wednesday	15:00	宮津	毎週水曜日	15:00
NISHI-MAIZURU CHURCH	1st Sunday	15:00	西舞鶴教会	第1日曜日	15:00
KAWARAMACHI CHURCH	Every Sunday	12:00	河原町教会	毎週日曜日	12:00
FRANCISCAN HOUSE	Every Wednesday	15:00	フランシスコの家	毎週水曜日	15:00
NARA CHURCH	Last Sunday	15:00	奈良教会	最終日曜日	15:00
YAMATO-KORIYAMA CHURCH	1st, 3rd Wed.	15:30	大和郡山教会	第1, 3水曜日	15:30
"	2nd, 4th Wed.	10:00	"	第2, 4水曜日	10:00
YAMATO-YAGI CHURCH	3rd Sunday	14:00	大和八木教会	第3日曜日	14:00
OOTSU CHURCH	2nd Sunday	15:00	大津教会	第2日曜日	15:00
KUSATSU CHURCH	4th Sunday	14:00	草津教会	第4日曜日	14:00
HIKONE CHURCH	1st Sunday	11:00	彦根教会	第1日曜日	11:00
NAGAHAMA CHURCH	1st Sunday	14:00	長浜教会	第1日曜日	14:00
YOKKAICHI CHURCH	3rd Sunday	13:00	四日市教会	第3日曜日	13:00
SUZUKA CHURCH	1st Sunday	14:00	鈴鹿教会	第1日曜日	14:00
KAMEYAMA CHURCH	Last Sunday	12:00	龟山教会	最終日曜日	12:00
TSU CHURCH	2nd Sunday	14:00	津教会	第2日曜日	14:00
MATSUSAKA CHURCH	1st Sunday	14:00	松阪教会	第1日曜日	14:00

한국어

교오또 코리안 가톨릭 센타 제1,2,3 주일 10:00

韓国語

京都コリアンカトリックセンター 第1, 2, 3日曜日 10:00

ESPAÑOL

Iglesia de FUSHIMI	2º Domingo	14:00
Iglesia de NISHIYAMATO	2º Domingo	14:00
Iglesia de YAMATO-YAGI	1º Domingo	14:00
Iglesia de KUSATSU	3º Domingo	14:30
Iglesia de HIKONE	2º Domingo	11:00
Iglesia de NAGAHAMA	3º Domingo	14:00
Iglesia de YOKKAICHI	4º Domingo	12:00
Iglesia de SUZUKA	3º y 5º Domingo	16:00
Iglesia de UENO	2º Sabado	19:30
Iglesia de TSU	4º Domingo	14:00

スペイン語

伏見教会	第2日曜日	14:00
西大和センター	第2日曜日	14:00
大和八木教会	第1日曜日	14:00
草津教会	第3日曜日	14:30
彦根教会	第2日曜日	11:00
長浜教会	第3日曜日	14:00
四日市教会	第4日曜日	12:00
鈴鹿教会	第3, 5日曜日	16:00
上野教会	第2土曜日	19:30
津教会	第4日曜日	14:00

PORTUGUES

Igleja paroquial do KUSATSU	2º Domingo	14:00
Igleja paroquial do HIKONE	4º Domingo	11:00
Igleja paroquial do NAGAHAMA	1º Domingo	11:30
Igleja paroquial do KUWANA	4º Domingo	16:00
Igleja paroquial do YOKKAICHI	1º e 2º Domingo	16:00
Igleja paroquial do SUZUKA	Todos los Domingo	18:00
Igleja paroquial do KAMEYAMA	3º Domingo	10:00
Igleja paroquial do UENO	3º Sabado	19:30
Igleja paroquial do HISAI	3º Domingo	15:00
Igleja paroquial do MATSUSAKA	2º Sabado	19:00
"	4º Domingo	19:00

ポルトガル語

草津教会	第2日曜日	14:00
彦根教会	第4日曜日	11:00
長浜教会	第1日曜日	11:30
桑名教会	第4日曜日	16:00
四日市教会	第1, 2日曜日	16:00
鈴鹿教会	毎週日曜日	18:00
龟山教会	第3日曜日	10:00
上野教会	第3土曜日	19:30
久居教会	第3日曜日	15:00
松阪教会	第2土曜日	19:00
"	第4日曜日	19:00

TAGALOG

Simbahan ng YOKKAICHI Unang Linggo ng Buwan 13:00

タガログ語

四日市教会 第1日曜日 13:00

お
知
ら
せ

「ペトロ岐部と187殉教者」列福式 決定
2008年11月24日(月・振替休日)長崎市で

教区委員会から

◆聖書委員会▼聖書深読17日(土)
10時 奥村豊師 河原町会館7階
費用2500円(昼食代を含む)、
持展品 聖書・筆記用具・ノート
(お申し込みは3日前までに)

地区協議会から

◆滋賀カトリック協議会▼例会18
日(日) 唐崎教会▼びわこウォーキング
23日(金) 岐部と187殉教者列福決定感謝
ミサと講演会10日(土) 13時半
津教会 講師 聖母女子短期大学
名誉教授三俣俊二氏

プロック・小教区から

◆京都南部東プロック▼ウォーカソン3日(土) 10時 河原町教会
から鴨川沿い往復 送金先 バン
グラデシュー・障害者リハビリセン

ター建設、ベトナム・ストリートチルドレン友の会、ブラジル・神学校、日本・ふれあい文庫の活動
▼歌と祈りの集い「愛と平和」12月2日(日) 14時 山科教会
修道会から
◆聖ドミニコ女子修道会▼ロザリオを共に祈る会16日(金) 10時半
どなたでもどうぞ▼みことばを聴こう17日(土) 9時半 講師 北村善朗師 対象 青年男女
会費 500円 問合せ075(231)2017
◆施設・諸活動から
◆JOC(働いている青年の集い)
▼最終金曜日19時 集会場所 京都都働く人の家(九条教会前)連絡先
090(8207)1831
◆三重カトリック協議会▼ペトロ
岐部と187殉教者列福決定感謝
ミサと講演会10日(土) 13時半
津教会 講師 聖母女子短期大学
名誉教授三俣俊二氏

◆京都カトリック混声合唱団▼練習日11日(日) 14時、24日(土)
19時(ミサ奉仕は18時15分から)
河原町会館6階
◆京都カナの会▼例会11月はお休みです
◆京都キリスト研究会▼例会25日(日) 河原町会館6階

◆コーエ・チェレステ▼練習日2、第4、第5木曜日10時 河原町会館6階
◆在世フランシスコ会京都兄弟会
▼集会17日(土) 13時半 フランシスコの家▼聖エリザベト生誕800年お祝い18日(日) 13時 仁川教会
◆聖ヴィンセンシオ・ア・パウロ会▼河原町協議会11日(日) 河原町教会
◆二金会▼9日(金) 11時 西陣教会
◆糠みその会▼29日(木) 19時半 九条教会ホール
◆部落問題活動センター▼講演会「ふつう」であるという世間体をする人、...される人...ふつうの人
◆カトリック聴覚障害者の会京都
グループ▼手話学習会8日(木) 13時 河原町会館6階
◆京都カトリック混声合唱団▼練習日11日(日) 14時 河原町会館6階
◆心のともしひ 075(223)2291 11月番組案内
▼テレビ(衛星・ケーブル放送) スカイAスポーツプラス

毎週土曜日朝8時45分より
井上博嗣神父によるシリーズ「聖書に学ぶ」3日「ナザレにおけるイエスの生活」。10日と17日「洗

来年2月、メリノール女子修道会松ヶ崎修道院が閉院することになり、ノートルダム教育修道女会がこの土地、建物を譲り受けることになります。それに伴い来年3月末でノートルダム教育修道女会鹿ヶ谷修道院を閉院し、その建物に移ることになります。

礼者ヨハネ」。24日「誘惑を受けられたイエス」(但し10日は7時45分からに変更)。
◆「ラジオKBS京都ラジオ *11月のテーマ「幸せ」。
月~土 朝5時15分より5分間。
問合せ075(211)9341 累計50,708,8559円
◆「一万匹の蟻」運動基金報告
(2ページからの続き)
(9月18日現在)

○2日(日)

八代殉教祭
主催 八代教会(熊本)

○3日(月)
聖フランシスコ・ザビエル記念聖堂
主催 山口教会
場所 山口ザビエル記念聖堂
念ミサ

大塚司教の

11月のスケジュール

1日 (木)	中央協常任司教委員会
3日 (土)	加悦教会献堂50周年ミサ 11時
4日 (日)	三重地区ラテンアメリカ カ人共同体堅信式ミサ
5日 (月)	教区宣教司牧評議会書 (津)
6日 (火)	福音センター会議10時 福音センター会議18時
8日 (木)	司祭全体集会、第29回 司祭評議会(唐崎メリ ノールハウス)
9日 (金)	東京カトリック神学院 常任司教委員会
11日 (日)	滋賀地区ラテンアメリカ 共同体堅信式ミサ
12日 (月)	(草津) 14時 司教顧問会・責任役員 会14時
13日 (火)	原町) 17時 教区司祭追悼ミサ(河 原町)
17日 (土)	交流会(札幌教区) 第17回共同宣教司牧推 進チーム会議11時
18日 (日)	～26日 (月) ローマ

◆お詫びと訂正

▼教区時報10月号(359号)8頁「聖書講座」のタイトルの中で、ギタル神父(クラレチアン会)は、正しくはヨルディ・ギタル神父(クラレチアン宣教会)でした。お詫びして訂正いたします。

1月号に2007年の年間予定を掲載します。締切11月19日(月)までに、「教区時報宛」と明記して、FAX075(211)4345または、henshu07@kyoto.catholic.jpにお願いします。

はつきり確定していない場合でも、予定として掲載いたします。

内容によってお問合せする必要がある場合がありますので、ご連絡者を明記下さい。本件は個別にはご依頼はいたしませんのでよろしくお願ひします。

「S」「space(場所)」の頭文字を組み合わせたもので、この集いを通じて青年たちが出会い、交流し、意味と意義のある時間を過ごすことができるようにという願いが込められています。

私は去年初めて、途中からではありました、「YES」に参加させていただきました。テーマに沿ったプログラムや、一家団欒といった雰囲気のなかでの食事、童心に戻ってはしゃいだゲームなど、人とゆっくり触れ合った温かさを感じることのできる時間でした。また、他教会の友達との再会だけでなく新しい出会いの場ともなり、その後も交流の続く友達を得るきっかけを与えていただきました。

そんな「YES」が、今年も開催しています。名前の由来は、「Y」「youth(青年)」「E」「encounter(出会い)」、「enjoy(楽しむ)」、「especial(特別な)」、「eternal(永遠の)」など…。

そのためには彼らはどうすればいいのか、といったことにスポットを当て、わかつあいやレクリエーションを行い、肩肘張らずにのんびりと活動をする予定です。1泊2日という短いプログラムではありますが、青年が自分を見つめなおしたり、他人との関わりのなかで、「参加してよかったです」と感じられるものになればいいなと思います。

YESについて

奈良教会 石原 茉奈

29日 (木) 青少年委員会15時
30日 (金) 大阪教会管区婚姻法務事務局会議(大阪大司教館)14時

ここにちは。気候もずいぶんと秋らしくなった今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。

今回は「YES」について皆さんに紹介させていただきたいと思います。「YES」とは、

京都カトリック青年センター主催の青年の集いです。年に一度開催しています。名前の由来は、「Y」「youth(青年)」「E」「encounter(出会い)」、「enjoy(楽しむ)」、「especial(特別な)」、「eternal(永遠の)」など…。

そのためには彼らはどうすればいいのか、といったことにスポットを当て、わかつあいやレクリエーションを行い、肩肘張らずにのんびりと活動をする予定です。1泊2日という短いプログラムではありますが、青年が自分を見つめなおしたり、他人との関わりのなかで、「参加してよかったです」と感じられるものになればいいなと思います。

青年センターあんてな

私は去年初めて、途中からではありました、「YES」に参加させていただきました。テーマに沿ったプログラムや、一家団欒といった雰囲気のなかでの食事、童心に戻ってはしゃいだゲームなど、人とゆっくり触れ合った温かさを感じることのできる時間でした。また、他教会の友達との再会だけでなく新しい出会いの場ともなり、その後も交流の続く友達を得るきっかけを与えていただきました。

そんな「YES」が、今年も開催しています。名前の由来は、「Y」「youth(青年)」「E」「encounter(出会い)」、「enjoy(楽しむ)」、「especial(特別な)」、「eternal(永遠の)」など…。

そのためには彼らはどうすればいいのか、といったことにスポットを当て、わかつあいやレクリエーションを行い、肩肘張らずにのんびりと活動をする予定です。1泊2日という短いプログラムではありますが、青年が自分を見つめなおしたり、他人との関わりのなかで、「参加してよかったです」と感じられるものになればいいなと思います。

青年たちが「YES」の由来通り、楽しく有意義な時間を過ごせるよう、お祈りしていただきますようお願いいたします。